

チャイルドシート

取扱説明書

ご使用前に必ずよくお読みください。
いつでも読めるように、大切に保管してください。



確認しておきましょう



必ずお読みください



乳児用としてご使用する場合

体重10kg未満のお子さま(新生児～9ヶ月頃)



幼児用としてご使用する場合

体重9～18kg未満のお子さま(9ヶ月～4歳頃)



お手入れのしかた



保証

確認しておきましょう 3

次のものがそろっていますか・各部のなまえ 3

必ずお読みください 4～6

緊急時には 4

お子さまの条件 4

取り付けできない座席 5

取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト 5

ご使用上の注意 6

乳児用としてご使用する場合 7～13

取り付け前の準備 7

チャイルドシートの取り付け 9～12

お子さまの座らせ方 13

幼児用としてご使用する場合 14～16

チャイルドシートの取り付け 14～15

お子さまの座らせ方 16

お手入れのしかた 17～18

シートカバー類の取り外し方 17

シートカバー類の取り付け方 17

各部のお手入れについて 18

保証 18

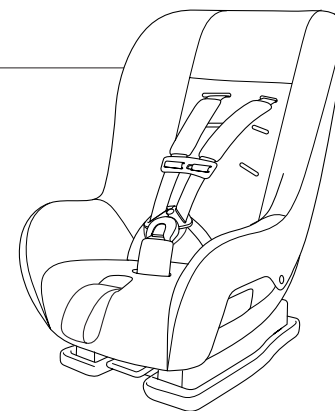
アフターサービスについて 18

このチャイルドシートは、自動車事故などの際にお子さまを
衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられた
年少者用補助乗用装置です。

シートベルトを利用してお車の座席に固定してご使用ください。

しかし、チャイルドシートは自動車事故において
必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。

チャイルドシートの確実な取り付けとともに
安全運転をお願い申し上げます。



マーク表示について

この取扱説明書には安全にご使用いただくために特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。これらの記載は重要ですので、よくお読み下さい。

⚠ 危険 指示に従わないと死亡または重大な傷害に至るもの。(本品は該当なし)

⚠ 警告 指示に従わないと死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの。

⚠ 注意 指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの。

! アドバイス 本品を確実に取り付けて頂くためのアドバイスを記載しています。

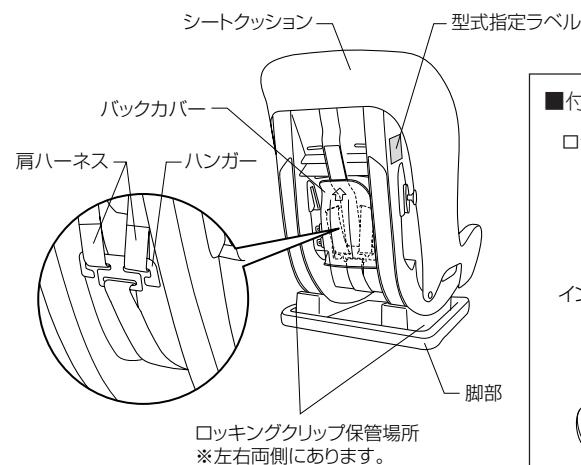
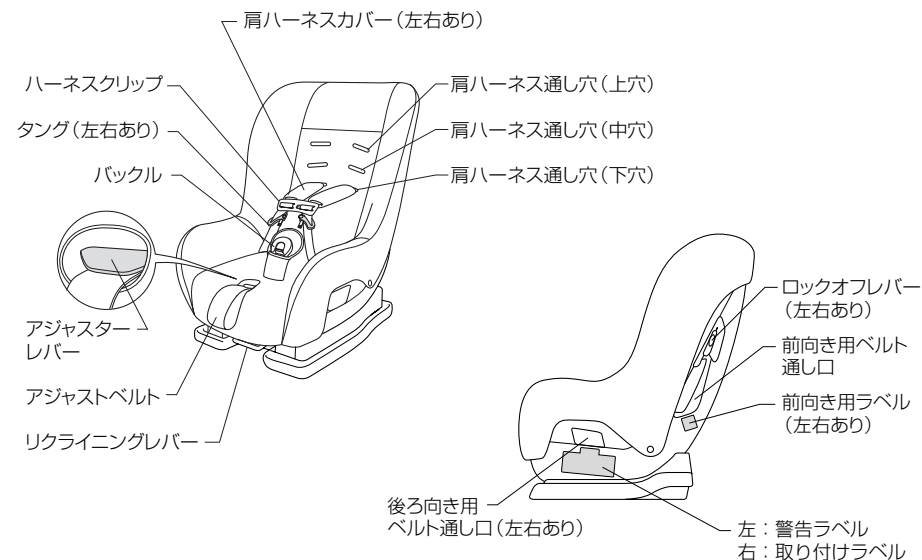
次のものがそろっていますか・各部のなまえ

箱から取り出した後やお使いいただく前は必ず次の点検を行って下さい。

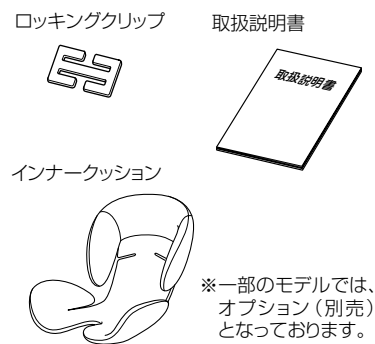
- ①チャイルドシートや付属品およびシートカバー類が揃っているか確認して下さい。
- ②チャイルドシートや付属品およびシートカバー類に破損等がないか確認して下さい。

●上記点検を行った際、欠品や破損等ございましたら使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までご連絡下さい。また、ご不明な点がある場合や、故障、修理の際も同様にご連絡下さい。

■本体



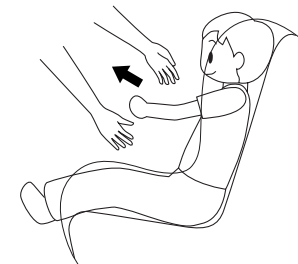
■付属品



緊急時には

衝突事故等の緊急時は、あわてず次の順序ですみやかにお子さまを救出して下さい。

- ① ハーネスボタンを指で押しタングを外し、向かって右側のハーネスクリップから肩ハーネスを外す。
- ② お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



※ ハーネスボタンを押してもタングが外れない時はハーネスを切断するなどして下さい。

お子さまの条件

⚠ 警告 下記の条件を満たさないお子さまは使用しないで下さい。
この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。

	後ろ向き取り付け	前向き取り付け
体 重	10kg 未満	9kg ~ 18kg 未満
参考年齢※	新生児 ~ 9ヶ月頃	9ヶ月頃 ~ 4歳頃
参考身長※	70cm 未満	70cm ~ 100cm 以下
取り付け方	後ろ向き 	前向き

※ 年齢・身長の範囲は、おおよその目安ですので、お子さまの体重に合わせてお使い下さい。

取り付けできない座席

⚠ 警告 次のような座席にはお使いにならないで下さい。

※ 事故時にお子さまに加わるダメージを軽減する効果がなかったり、逆にお子さまや他の乗員が重大な傷害を受ける恐れがあります。

- シートベルトが付いていない座席
- 2点式シートベルトの付いている座席
- エアバッグの付いている座席
- 横向き、後ろ向きの座席
- チャイルドシートで運転に支障をきたす座席
- 下記の「取り付けできないタイプ」に明記されているシートベルトの付いている座席

取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト

取り付けできるタイプ

ELR・ALR付シートベルト(チャイルドシート固定機能付きシートベルト)

通常はELRの機能だが、シートベルトを全量引き出すとALRの機能に切り替わるシートベルト。現在、このタイプのシートベルトが主流になっています。

ELR(緊急ロック式ベルト巻取り装置)付シートベルト(腰ベルト側にELRが付いていないシートベルト)

ELRベルトとは、ベルトをゆっくり引き出せば自由に入出力するが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックを与えるとロックされるシートベルト。

NLR(非ロック式ベルト巻取り装置)付シートベルト

ロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、長さを調節して使用するシートベルト。

ALR(自動ロック式ベルト巻取り装置)付シートベルト

シートベルトを引き出す途中で手をとめると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せないシートベルト。

マニュアル式シートベルト

巻取り装置のない3点式シートベルト。

取り付けできないタイプ

⚠ 警告 お車のシートベルトが次のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。

腰ベルト側に付いたELR(緊急ロック式ベルト巻取り装置)付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く(急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき)と腰ベルト側のシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。

2点式シートベルト

肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト

パッシブシートベルト

前部座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。

その他のシートベルト

「取り付けできるタイプ」に記載されていないシートベルト。

ご使用上の注意

⚠ 警告 指示に従わないと死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

- ① 事故等でチャイルドシートが強い衝撃を受けた場合は、目に見えない破損がある恐れが強いため、再使用しないで下さい。
- ② 拘束性能に影響を与える恐れがあるため、柔軟材料(専用カバー類・ベルト類・発泡材料等)を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないで下さい。
- ③ お子さまをチャイルドシートに座らせたままお車から離れないで下さい。不慮の事故につながる恐れがあります。
- ④ 走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗り降りさせないで下さい。
- ⑤ チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないで下さい。切れていたりすると、チャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。
- ⑥ ハーネスは、ねじれないようにお子さまの身体にあわせて調節して下さい。
- ⑦ チャイルドシートを取り付けた後、お車の座席を移動させたり、背もたれを前後に倒したりしないで下さい。チャイルドシートの固定がゆるむ恐れがあります。
- ⑧ 取扱説明書に記載された以上の分解、構成部品を取り外した状態での使用、指定以外の物との交換は絶対にしないで下さい。
- ⑨ チャイルドシートのロック部分(バックル等)には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないで下さい。部品の故障原因になります。
- ⑩ チャイルドシートを保管する時は、強い衝撃を与えたり、長期間屋外に放置しないで下さい。
- ⑪ 腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させて下さい。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に腹部が圧迫される恐れがあります。
- ⑫ チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにして下さい。チャイルドシートにガタツキが生じます。

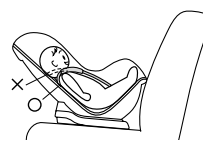
⚠ 注意 指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの

- ① チャイルドシートに日光が当たりますと、熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまが火傷をする恐れのないことを確認の上、ご使用下さい。
- ② 可動式シート又は車両のドアにチャイルドシートの剛性部分(プラスチック部分等)が挟まれないようにして本商品を取り付けて下さい。
- ③ チャイルドシートにお子さまを乗せない時でも、安全のため車のシートベルトで必ず固定して下さい。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、ケガなどをする恐れがあります。
- ④ 事故などにより、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないで下さい。万一の時、お子さまや乗員にあたる恐れがあり危険です。

取り付け前の準備

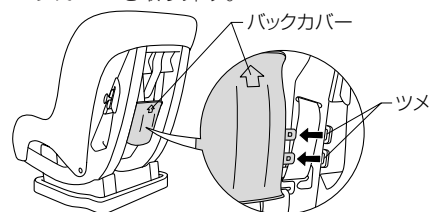
肩ハーネス高さの確認と調節

お子さまの体格に合わせて、肩ハーネスの高さを調節する必要があります。

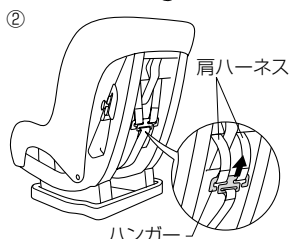
10kg未満のお子さま (新生児～9ヶ月頃)	9kg～18kg未満のお子さま (9ヶ月頃～4歳頃)
	
肩より低い肩ハーネス通し穴	肩より高い肩ハーネス通し穴

警告 お子さまの体格に合わせないで使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

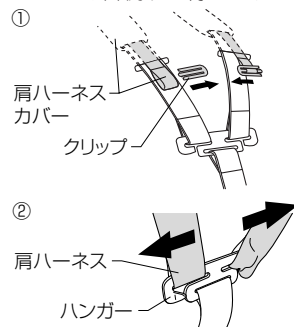
- バックカバーの左右どちらかのツメ2ヶ所を外してから、残りの2ヶ所を外し、バックカバーを取り外す。



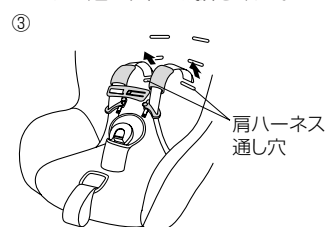
- ① アジャスターレバーを持ち上げながら、② ハンガーを引き出して肩ハーネスをゆるめる。



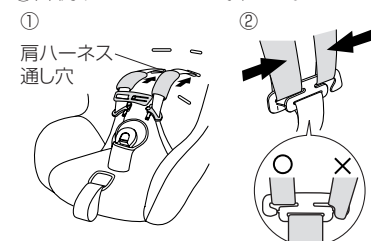
- ③ ① 本体後ろ側の肩ハーネスカバーからクリップを外し、② ハンガーから片側ずつ肩ハーネスを外す。



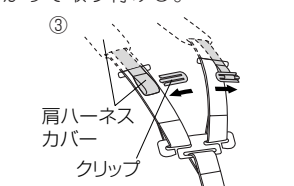
- ③ 肩ハーネス通し穴から抜き取る。



- ④ ① 肩ハーネスを、本体前側からお子さまの肩の位置に合った肩ハーネス通し穴に差し込む。② 片側ずつハンガーに掛ける。



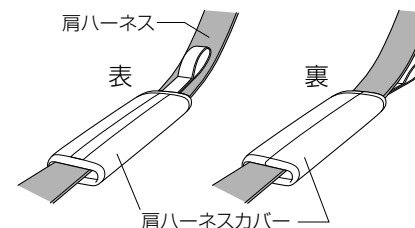
- ③ 肩ハーネスカバーにクリップの凸部を上にして、チャイルドシートの中心から外側に向かって取り付ける。



！アドバイス

肩ハーネスカバーを通す場合…

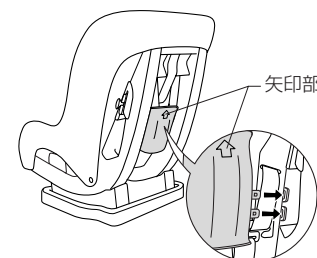
図のような方法でチャイルドシート側の肩ハーネスを通して下さい。



警告 肩ハーネスがねじれていないことを確認して下さい。ねじれていると事故時に、重大な傷害を受ける恐れがあります。

警告 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けしていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

- ⑤ バックカバー矢印部が上にくるよう、本体にツメを引っ掛ける。



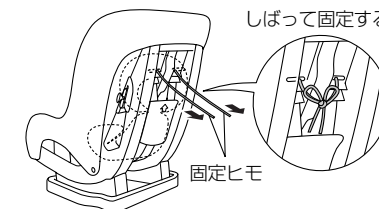
注意 確実にツメが挿入されていない場合、矢印部が上でない場合、事故時に十分な機能を発揮しない恐れがあります。

- ⑥ 肩ハーネスの位置がお子さまの肩の位置に合っているか確認する。(P.7)

警告 お子さまの体格に合わせないで使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

インナークッションの取り付け

- ① インナークッションの固定ヒモを、1番上の肩ハーネス通し穴に通す。
- ② インナークッションをシートに密着させ、固定ヒモを結んで固定する。

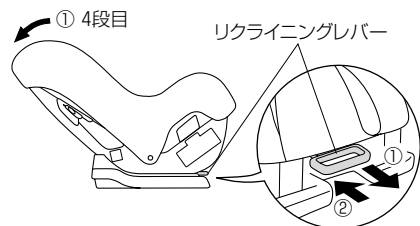


注意 確実に固定しないと、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け

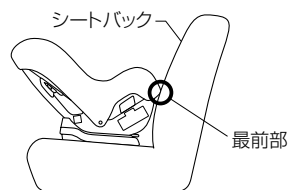
お車のシートにチャイルドシートを乗せる

- ① リクライニングレバーを手前に引きながら、角度を4段目にセットする。
- ② リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。



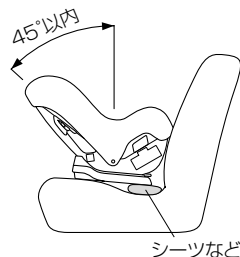
警告 ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

- ② チャイルドシートの最前部がお車のシートバックにぴったりつくようにチャイルドシートを後ろ向きに置く。



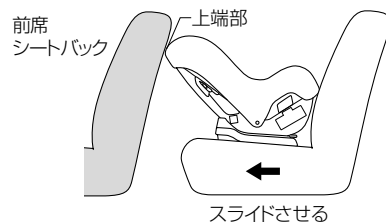
警告 チャイルドシートとシートにすき間があると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

！アドバイス お車のシート形状によりチャイルドシートが起きあがる場合があります。シートなど堅めの詰め物を入れ、チャイルドシートを少したおしてください。ただし、その場合チャイルドシートの背もたれの角度は45°以内になるように注意して下さい。



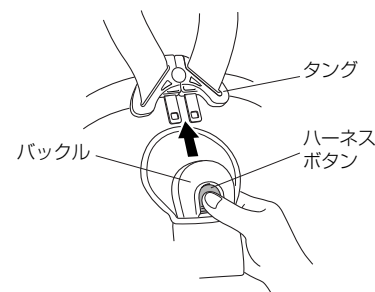
45°以上になるとチャイルドシート本来の機能を果たさず、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

！アドバイス シートが前後にスライドできる場合は、シートを前方にスライドさせ、チャイルドシートの上端部を前席シートバックに当てて下さい。シートを前方にスライドさせても、前席シートバックに当たらない場合は、後席シートを最後端にスライドさせておいて下さい。

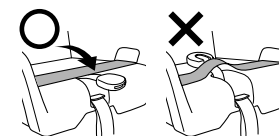
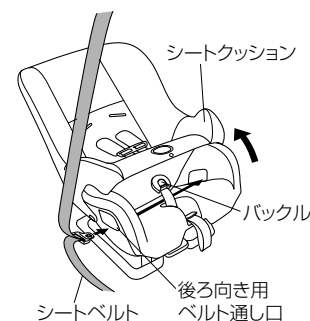


チャイルドシートの固定

- ③ ハーネスボタンを押してバックルからタングを外す。



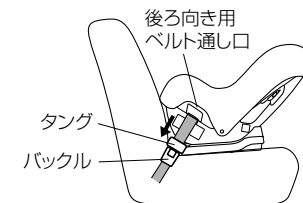
- ④ ①シートクッションの前部分をめくる。
- ②タングを外したバックルをシートクッションから抜く。
- ③シートベルトを後ろ向き用ベルト通し口に通す。
- ④チャイルドシートのバックルをお車のシートバック側に倒す。



警告 後ろ向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さないで下さい。他の箇所を使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

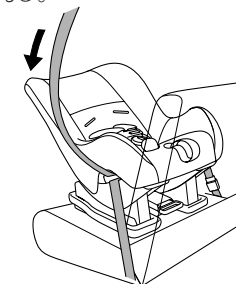
警告 股ハーネスの上にシートベルトを通さないで下さい。バックル位置がズレて、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

- ⑤ シートベルトのねじれがないことを確認して、シートベルトのタングをお車のバックルに差し込む。



ALR付3点式シートベルト（チャイルドシート固定機能付シートベルト）での取り付けでは、ロッキングクリップは使用しません。ALR機能・使い方等詳しくはお車の取扱説明書をお読み下さい。

- ⑥ シートベルトを全量引き出し、ALR機能に切り替える。



- ⑦ ①チャイルドシートを下に強く押し付けながら、②シートベルトの肩ベルトを引き、余分なベルトを巻取る。



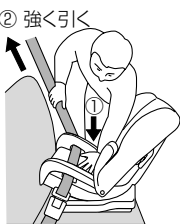
警告 チャイルドシートをお車に固定するときは、シートベルトの緩みがないようにして下さい。チャイルドシートのがたつきが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

チャイルドシートの取り付け

ALR機能が付いていない3点式シートベルトまたは、ALR付3点シートベルト（自動ロック式ベルト巻取り装置）でちゃんと取り付けられない場合

P.10 ③～⑤の手順に従う。

- ⑧ ①チャイルドシートを下に強く押し付けながら、②シートベルトの肩ベルトを引き、余分なベルトを巻取り固定する。

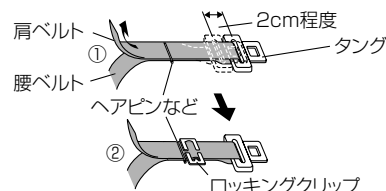


- ⑨ 固定した状態で、後ろ向き用ベルト通し口から1cmくらい外側に離れたシートベルトの箇所（お車のバックル側）にシートベルトを傷つけないように、ヘアピンなどで目印を付けてタングをバックルから外す。

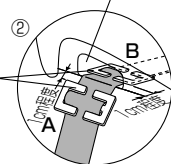


警告 目印を付けたとき、ベルトを傷つけないで下さい。少しでも傷ついていると、急ブレーキや衝突等の衝撃でシートベルトやハーネスが切れるなどして、お子さまがチャイルドシートから飛び出す恐れがあります。

- ⑩ ①目印を付けた位置より、肩ベルトのみ※2cm程度巻き戻し、②目印よりも内側（タング側）にロックングクリップを取り付ける。



後ろ向き用ベルト通し口

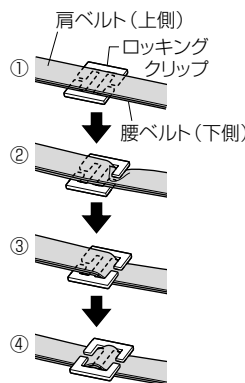


自動車側のバックルが長くてA側にロックングクリップが取り付けられない場合は、Bの位置に取り付けて下さい。

※肩ベルトのみ2cm程度巻き戻すことにより、ベルト全体が短くなり、固定時のベルトのたるみを無くします。

ロックングクリップの取り付け方

- ①肩ベルトを上、腰ベルトを下にして重ね、ロックングクリップの上にのせる。

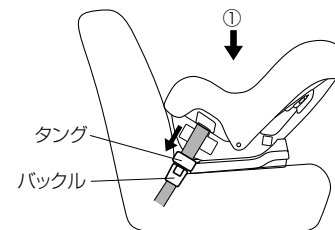


- ②、③、④の順に図のように取り付けます。

警告 ロックングクリップと肩ベルト、腰ベルトの重ね方は必ず上図のとおり重ねて下さい。

警告 ELR付3点式シートベルトで後ろ向きに取り付けるときは、必ず付属のロックングクリップを正しく使ってチャイルドシートを固定して下さい。走行中にシートベルトがゆるみ、衝突時などにしっかり固定できない恐れがあります。

- ⑪ ①チャイルドシートを下に強く押し付けながら、②タングをバックルに差し込む。③目印を取り除く。



取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられている目安は、左右にゆすった時、移動距離が3cm以内です。
3cm以上動く場合は「チャイルドシートの取り付け」(P.9) ①からやり直して下さい。

警告 チャイルドシートをお車に固定するときは、シートベルトの緩みがないようにして下さい。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

警告 チャイルドシートの取り付け以外では、ロックングクリップを使わないで下さい。他の用途には使用できるように設計されていませんので、思わぬ事故が起きる恐れがあります。

警告 チャイルドシートを使わない場合は、必ずシートベルトからロックングクリップを外して下さい。ロックングクリップが付いたままシートベルトを使用すると、事故や急ブレーキ時にロックングクリップが体に当たり、ケガをする恐れがあります。

ELR・ALR3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.9 ①～P.10 ⑦の手順に従って取り付けます。

ELR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.9 ①～P.10 ⑤→P.11 ③～P.12 ⑪の手順に従って取り付けます。

ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.9 ①～P.10 ⑤→P.10 ⑦の手順に従って取り付けます。

P.10 ④の手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。

NLR付3点式シートベルトでの取り付け方

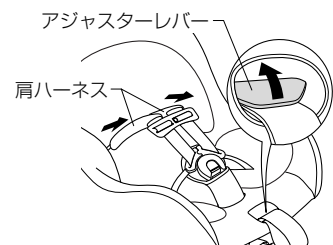
■ P.9 ①～P.10 ⑤→P.10 ⑦の手順に従って取り付けます。

マニュアル式3点式シートベルトでの取り付け方

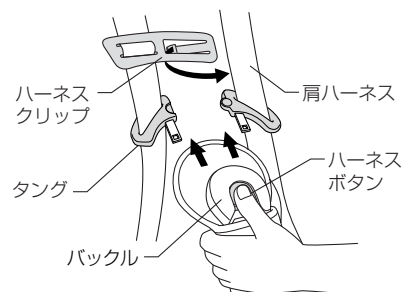
■ P.9 ①～P.10 ⑤→P.10 ⑦の手順に従って取り付けます。

お子さまの座らせ方

- ① アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

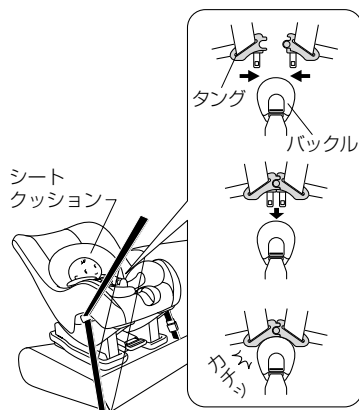


- ② ハーネスボタンを押してバックルからタンクを外し、ハーネスクリップを外して肩ハーネスを左右に広げる。



- ③ お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

- ④ 肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタンクを確実にくっつけ合わせ、合わせたタンクをまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。



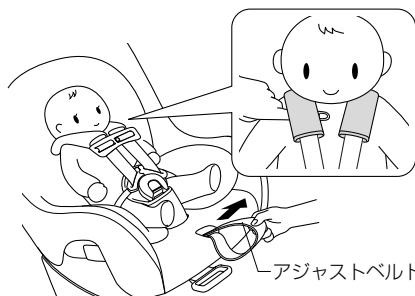
！アドバイス タングを引っ張り、タンクとバックルが正しく結合されているか確認して下さい。

！警告 左右のタンクを別々に差し込んだり、タンクを斜めに差し込んだりしないで下さい。タンクがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤ ハーネスクリップをはめる。

！アドバイス ハーネスクリップの左右を引っ張り、正しく結合されているか確認して下さい。

- ⑥ アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。



- ⑦ ハーネスクリップを、お子さまの脇の高さ位置にする。

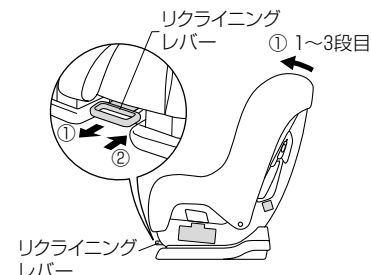


！警告 ハーネスに緩みやねじれがないようにして下さい。ハーネスとお子さまの間に余分な隙間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け

お車のシートにチャイルドシートを乗せる

- ① リクライニングレバーを手前に引きながら、角度を1～3段目にセットする。
② リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。



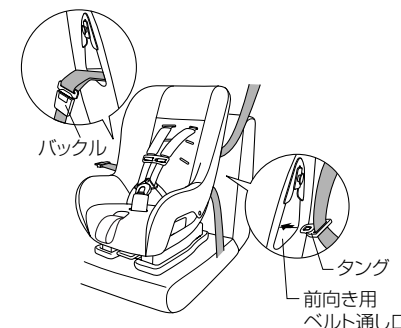
！警告 ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

- ② チャイルドシートを前向きにお車の座席に置く。



チャイルドシートの固定

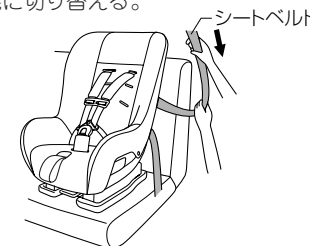
- ③ シートベルトを前向き用ベルト通し口に通し、タンクをバックルに差し込む。



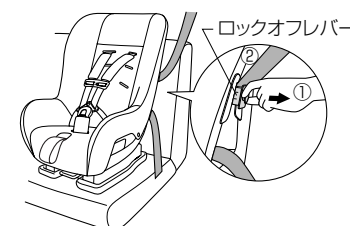
！警告 前向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さないで下さい。他の箇所に使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

ALR機能付3点シートベルト（自動ロック式ベルト巻取り装置）取り付けの場合

- ④ シートベルトを全量引き出し、ALR機能に切り替える。

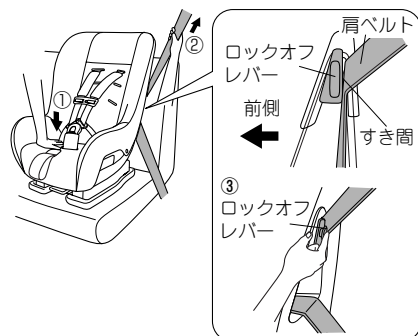


- ⑤ ①ロックオフレバーを引き、②本体側の矢印側のすき間にシートベルトの肩ベルトを通す。



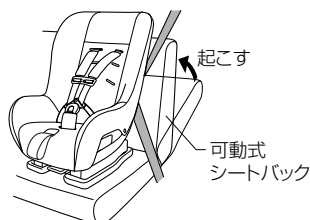
チャイルドシートの取り付け

- ⑥ ①チャイルドシートに体重をかけながら、
②肩ベルトを強く引く。
③ロックオフレバーを指で押し込みロックする。



警告 無理にロックオフレバーを最後まで押し込まないで下さい。
故障の原因となります。

！アドバイス お車が可動式シートバックの場合は、「チャイルドシートの取り付け方」(P.14～15) ①～⑥の手順で取り付け後にシートバックを起こすと容易にしっかり取り付けられます。



取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられている目安は、左右にゆすった時、移動距離が3cm以内であることです。
3cm以上動く場合は「チャイルドシートの取り付け」(P.14) ①からやり直して下さい。

警告 チャイルドシートをお車に固定するときは、シートベルトの緩みがないようにして下さい。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

ELR・ALR3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.14 ①～15 ⑥の手順に従って取り付けます。

ELR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.14 ①～P.14 ③→P.14 ⑤～P.15 ⑥の手順に従って取り付けます。

ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.14 ①～P.14 ③→P.14 ⑤～P.15 ⑥の手順に従って取り付けます。
P.14 ③の手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。

NLR付3点式シートベルトでの取り付け方

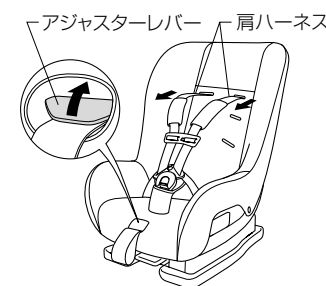
■ P.14 ①～P.14 ③→P.14 ⑤～P.15 ⑥の手順に従って取り付けます。

マニュアル式3点式シートベルトでの取り付け方

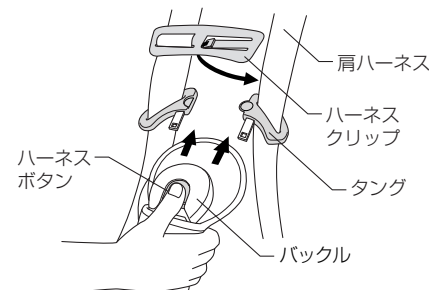
■ P.14 ①～P.14 ③→P.14 ⑤～P.15 ⑥の手順に従って取り付けます。

お子さまの座らせ方

- ① アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

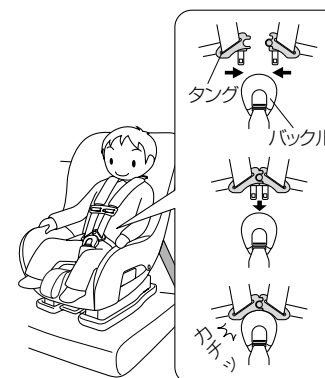


- ② ハーネスボタンを押してバックルからタングを外し、ハーネスクリップを外して肩ハーネスを左右に広げる。



- ③ お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

- ④ 肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを確実にくっつけ合わせ、合わせたタングをまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。



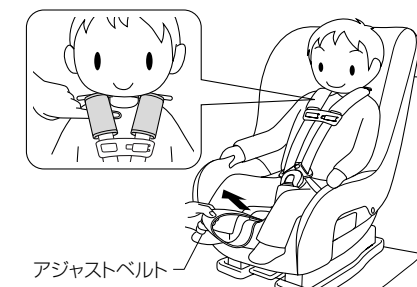
！アドバイス タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されているか確認して下さい。

警告 左右のタングを別々に差し込んだり、タングを斜めに差し込んだりしないで下さい。
タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

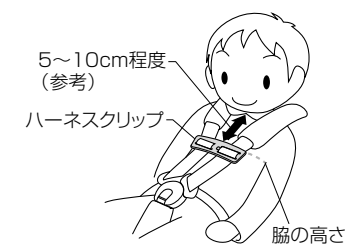
- ⑤ ハーネスクリップをはめる。

！アドバイス ハーネスクリップの左右を引っ張り、正しく結合されているか確認して下さい。

- ⑥ アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。



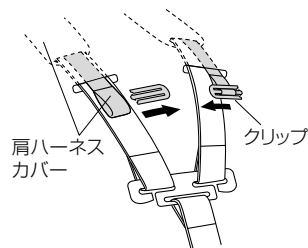
- ⑦ ハーネスクリップを、お子さまの脇の高さ位置にする。



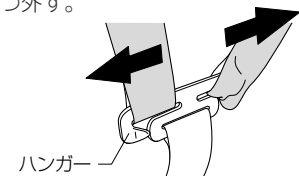
警告 ハーネスに緩みやねじれがないようにして下さい。ハーネスとお子さまの間に余分な隙間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートカバー類の取り外し方

- ① クリップを肩ハーネスカバーから外す。



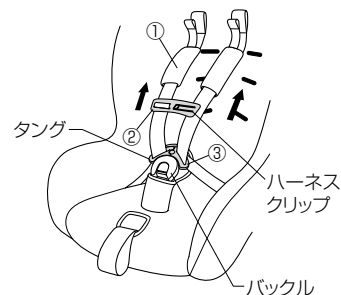
- ② ①肩ハーネスを後ろ側のハンガーから片側ずつ外す。



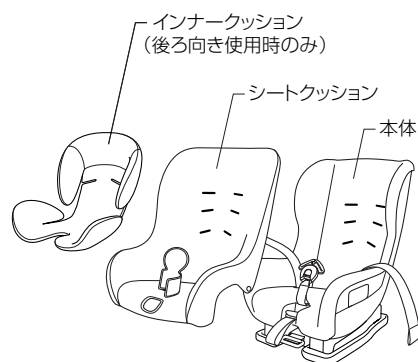
- ③ ②肩ハーネス通し穴の前から抜き取る。



- ④ バックルにタングを差し込んだまま、
①肩ハーネスカバー
②ハーネスクリップ
③タングから肩ハーネスの順で抜き取る。



- ⑤ シートクッションを取り外す。



シートカバー類の取り付け方

- 取り外し方と逆の手順で各カバー類を取り付ける。

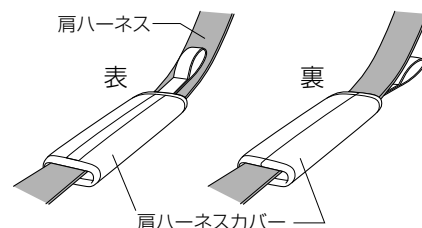
警告 ハーネスがねじれていないことを確認して下さい。ねじれていると事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

注意 専用カバー以外は使用しないで下さい。事故時に十分な機能を発揮しない恐れがあります。

注意 シートカバー類は必ず取り付け使用して下さい。取り付けないと、日光が当たり火傷をする恐れがあります。

！アドバイス

肩ハーネスカバーを通す場合…
図のような方法でチャイルドシート側の肩ハーネスを通して下さい。

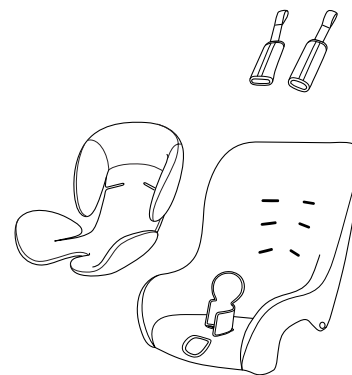


各部のお手入れについて

※ シートカバー類がよごれた場合は本体より取り外し洗濯することができます(P.17「シートカバー類の取り外し方」参照)。中性洗剤を使用し必ず手で押し洗いをして下さい。

※ シートフレーム等のプラスチック部が汚れた場合は、乾拭きか水拭きをして下さい。

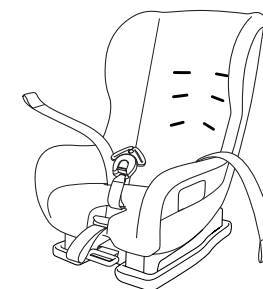
本体カバー類



注意 洗濯後は、完全に乾燥させてからお使い下さい。

本体

洗剤類を使用しないで下さい。変色等の恐れがあります。



注意 水拭き後は、完全に乾燥させてからお使い下さい。

アフターサービスについて

保証書

- ・ 保証書(裏表紙)は、お買い上げの販売店から製品をお受け取りの際に、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめ下さい。
- ・ 保証書の内容をよくお読み下さい。
- ・ 保証書を取扱説明書から切り離さずに、チャイルドシートの所定の場所(P.3参照)に大切に保管して下さい。

修理を依頼されるときは

- 保証期間中は
 - ・ 保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。

●保証期間経過後は

・ 修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

●次の事項をご連絡下さい

- ①故障の状況
- ②製品名
- ③製造ロットNo.
(背面のラベルに記載あります)
- ④お買い上げの年月日
- ⑤お客様のお名前、ご住所、電話番号

ご不明な点や修理に関するご相談は

※ お買い上げの販売店、または裏表紙記載の当社お客様相談室にお問い合わせ下さい。

